

第3次郡上市総合計画 前期基本計画

4. 環境・防災・社会基盤

美しい水と緑を守り、快適で安全に暮らせるまち

清流長良川をはじめとする豊かな自然環境を大切に守り、次世代へ継承します。また、地震や水害などの大きな災害に強く、道路や水道など快適な日常生活を支える暮らしの基盤を整備し、だれもが安心して暮らせるまちをつくります。

方針 1	環境	豊かな自然を守り、環境にやさしいまちをつくります
	施策 1	豊かな自然環境の保全
	施策 2	脱炭素社会の実現
	施策 3	廃棄物の削減及びリサイクルの推進

方針 2	防災 生活安全	市民生活の安全・安心を守ります
	施策 1	防災体制の整備
	施策 2	市民の安全対策の推進
	施策 3	災害に強い住環境の整備

方針 3	社会基盤	効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります
	施策 1	社会インフラの適正な維持管理による長寿命化
	施策 2	公共交通の維持・利便性の向上

方針 1

環境

豊かな自然を守り、環境にやさしいまちをつくります

施策 1

豊かな自然環境の保全

開発行為の適正管理による乱開発の防止や、海洋ごみの発生源ともなり得る不法投棄防止体制の強化などにより、郡上の豊かな山林を整備し守り育てることで川の水質を維持し、清流長良川をはじめとする貴重な水資源を下流へと運ぶ河川上流部の責任を果たすとともに、美しいまちを残します。

■ 目指す姿

自然資源の適正な管理により、豊かな自然が後世に受け継がれています。

<主な取り組み>

- ▷ 開発行為の適正管理
- ▷ 水環境の適正管理
- ▷ 不法投棄防止体制の強化
- ▷ 景観形成の推進

施策 2

脱炭素社会の実現

市民や事業者と連携して省エネ活動や地域資源を活かした再エネ利用の推進や広大な森林の適正管理による二酸化炭素の森林吸収量の維持・拡大により、2030 年度における二酸化炭素の排出削減目標（基準年度比 46%削減）の達成に向けた取り組みを推進します。併せて、すでに起こりつつある気候変動の影響を軽減し、適応するための取り組みも推進することで、持続可能な社会「脱炭素社会郡上」の実現を目指します。

■ 目指す姿

二酸化炭素の排出削減目標が達成され、地球温暖化に適応した暮らしが実現しています。

<主な取り組み>

- ▷ 省エネの推進
- ▷ 再エネ利用の推進

施策3 廃棄物の削減及びリサイクルの推進

資源循環という観点から、廃棄物の削減とリサイクルの推進は重要な取り組みです。4 R運動を基本とし、生ごみのたい肥化や食べ残しの削減など食品ロス削減に積極的に取り組むことで可燃ごみを減らし、大気汚染や二酸化炭素の排出などといった環境負荷の軽減を図ります。限りある資源を有効に活用する資源循環の仕組みを構築し、環境にやさしいまちづくりを推進します。

■ 目指す姿

ごみが減量化され、環境にやさしいまちが形成されています。

＜主な取り組み＞

- ▷ 食品ロス削減対策の推進
- ▷ 4 Rの普及促進

■ 関連する個別計画

- ・ 郡上市景観計画
- ・ 郡上市地球温暖化対策実行計画
- ・ 郡上市一般廃棄物処理基本計画
- ・ 郡上市食品ロス削減推進計画
- ・ 郡上市地球温暖化対策実行計画

《用語》

再エネ

再生可能エネルギーの略称。太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの自然界に常に存在し、利用する以上の速度で再生されるエネルギー源のこと。

4 R

ごみの減量化・資源循環を促進するためのキーワードで、Refuse（リフューズ：断る）、Reduce（リデュース：減らす）、Reuse（リユース：繰り返し使う）、Recycle（リサイクル：資源として再利用する）の4つの英語の頭文字（R）をとったもの。

食品ロス

本来食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品のこと。

施策 1

防災体制の整備

近年、全国各地で大規模な自然災害が多発する中、災害発生時に対応できるよう、常備、非常備消防の強化充実を図りながら市民一人ひとりの備えや防災士、自主防災組織等を中心とした地域単位での防災意識の向上を図るとともに、DXツール等を活用しながら効果的な情報伝達体制の確立をし、地域防災力を高めます。

■ 目指す姿

市民一人ひとりの防災意識が高まるとともに、身近なコミュニティなどによる共助の強化が進み、災害に強い地域となっています。

＜主な取り組み＞

- ▷ 常備消防・非常備消防の強化と充実
- ▷ 地域防災力の強化
- ▷ 災害時体制・情報伝達手段の確立

施策 2

市民の安全対策の推進

火災、犯罪、交通事故等の予防に対する市民意識の向上や地域内の連携を高めるとともに、犯罪や交通事故の起こりにくい生活環境の実現に向けた整備・支援を行い、日常生活に潜むリスクを低減します。また、交通事故による被害のリスクが特に高い年少者、高齢者等を対象とした交通安全対策や、特定空家等の解消を図ります。

■ 目指す姿

火災、犯罪、交通事故等の予防啓発活動や情報提供、相談体制の充実により、安全に安心して暮らせる生活環境が整っています。

＜主な取り組み＞

- ▷ 火災・防犯・交通安全対策の推進
- ▷ 消費者保護
- ▷ 特定空家等の解消

施策3 災害に強い住環境の整備

集中豪雨などによる水害や土砂災害を未然に防ぐため、河川の改修、急傾斜地などの危険箇所の解消促進、治山・砂防事業を推進します。また、台風や大雪時の倒木による道路の通行止めや停電の発生抑制のため、沿道の樹木伐採を促進します。地震災害に強い住環境を整えるため、建築物の耐震化を推進します。

■ 目指す姿

災害危険箇所の解消を図ることにより、暮らしの安全・安心が守られています。

＜主な取り組み＞

- ▷ 急傾斜地の崩壊対策
- ▷ 河川災害の防止対策
- ▷ 沿道林の修景整備
- ▷ 集落環境の保全整備
- ▷ 建築物等耐震化の推進

■ 関連する個別計画

- ・郡上市地域防災計画
- ・郡上市業務継続計画
- ・郡上市消防団組織再編計画
- ・郡上市空家等対策計画
- ・緊急自然災害防止対策事業計画
- ・郡上市耐震改修促進計画

《用語》

常備消防・非常備消防

常備消防とは市町村に設置される消防本部や消防署のこと。非常備消防とは消防団のこと。

DXツール

デジタル技術やデータを活用して業務を効率化するためのソフトウェアやシステムの総称。

特定空家等

そのまま放置すると倒壊や衛生上の問題、景観を著しく損なうなど、地域住民の生活環境に悪影響を与えるおそれがある空き家のこと。

治山

山崩れや土砂災害を防ぎ、水の供給を安定させ、生活環境を良くするなど、山の力を高めるために行う森林の整備や保全のための工事のこと。

砂防

土石流、がけ崩れ、地すべりなどの土砂災害を防ぐ工事のこと。

方針 3

社会基盤

効果的な整備と適切な維持管理により社会基盤の充実を図ります

施策 1

社会インフラの適正な維持管理による長寿命化

広大な面積に非常に多くの道路、上下水道施設を抱えている郡上を取り巻く環境は、人口減少等による需要の減少や施設の老朽化により維持しつづけることが困難になっています。また人々の定住を促進する快適な暮らしができるまちづくりのためには、安全で良好な住宅が必要です。市民へ持続可能な社会基盤を提供するため、計画的な保全と適切かつ効率的な維持管理を行います。

■ 目指す姿

社会インフラの適切な維持管理により、市民が快適な生活環境の中で暮らすことができます。

＜主な取り組み＞

- ▷ 道路施設の適正管理
- ▷ 上下水道施設の見直しと強靱化
- ▷ 市営住宅の適正管理
- ▷ 人口減少に対応した道路整備

施策 2

公共交通の維持・利便性の向上

これからの地域公共交通は、人口減少や利用ニーズの変化などを念頭に置きつつ、地域住民、交通事業者、行政がそれぞれの役割に応じて互いに協力し、地域公共交通の確保・維持・改善を図っていくことが重要となります。そのため、常に地域特性や利用実態を把握し適切な運行体系を見極めながら、住民主体の交通サービスの構築や公共交通の運行の見直しによる効率化を進めます。また、バス路線のオープンデータ化の随時更新、利活用による利便性の向上を図ります。

■ 目指す姿

協働による持続可能な公共交通が構築され、市民が安心して生活できています。

＜主な取り組み＞

- ▷ 持続可能で安全・安心な地域公共交通の確保・維持
- ▷ 公共交通の利用促進
- ▷ 長良川鉄道への支援

■ 関連する個別計画

- ・郡上市水道事業ビジョン
- ・郡上市公共下水道事業計画
- ・郡上市特定環境保全公共下水道事業計画
- ・郡上市道路橋梁維持管理個別施設計画
- ・郡上市橋梁長寿命化修繕計画
- ・郡上市道路トンネル維持管理個別施設計画
- ・郡上市公営住宅等長寿命化計画
- ・郡上市地域公共交通計画

《用語》

社会インフラ

道路や水道など、人々の生活や経済活動を支える基盤となる施設や設備全般のこと。

オープンデータ

行政機関などが持つ統計や地図情報といった公共データを、誰もが自由かつ無償で利用・再加工・再配布できるルールのもとで、インターネットなどを通じて公開したデータ。